

| | | | |
|--|---|---|------|
| 科目名：栄養学 | | 必 | 1 単位 |
| (Nutritional science) | | | |
| 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義 | | | |
| 担当教員：西村 康 (実務経験有)、角田 晃 (実務経験有) | | | |
| 学修目的 | 豊かに食糧が供給されているなかで、なぜ栄養学を学ばなければならないのかという基本を理解し、日本人の食生活・栄養摂取状況、栄養素の消化吸收、日本人の食事摂取規準、各種栄養素の働きなどの基礎を学ぶ。さらに、実際の食生活に関連する望ましい食生活、国民の健康と栄養の実態、調理とライフスタイル、各種食品の成分と分類・物性などを学んで、歯科臨床における栄養指導が、各個人のライフスタイルおよび歯科治療経過に適合して行えるように習熟することが最終目標である。 DP(3)-(3),CP(6)に関連する。 科目 No. S1C11H25 | | |
| 到達目標 | 1. エネルギー代謝について理解する。 2. 食事の摂取基準について理解する。 3. 栄養素の種類と働きについて理解する。 4. 栄養素の体内代謝について理解する。 5. ライフステージと栄養について理解する。 6. 国民の健康と栄養の現状を理解する。 7. 国民健康づくりにおける食生活改善の取り組みを理解する。 8. 健康づくりと食品・食事・食生活について理解する | | |
| 授業概要 | 栄養学では基礎栄養学を最初に講義する。 2年生で相互実習として行う歯科保健指導論Ⅲ(栄養指導および献立の立案実習)の基礎となる「食生活」及び「栄養指導」の基礎的概念を理解し、食物より摂取された各栄養素の生体内における消化、吸収、代謝を中心にその生理的意義、エネルギー収支、栄養価について学ぶ。 人間の生命活動の源泉である栄養と生体とのかかわりを認識し、全身的な健康維持の基本となるものが栄養であることを理解する。さらに食事摂取基準、健康日本21、食事バランスガイドなど食生活の改善の取り組みやライフステージ別の栄養特性についても学ぶ。 | | |
| 評価方法 | 学期末試験(100%)、 その他 レポート課題を課する場合もある。(その場合は加点する。) 最終成績は総合評価。試験に対するフィードバックは掲示で行う。 | | |
| 予習・ 復習時間 | 【予習】0.5時間 【復習】0.5時間 | | |
| 教科書 | 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版 第4版 イラストでわかる歯科医学の基礎 村上秀明、西村 康、天野 修 監修 永末書店 | | |
| | 楽しくわかる栄養学 中村丁次著 羊土社 よくわかる栄養学の基本としくみ 中屋 豊著 株式会社秀和システム 栄養学イラストレイテッド 基礎栄養学 改訂第4版 田地陽一編著 羊土社 栄養学イラストレイテッド 応用栄養学 改訂第2版 栢下 淳他編著 羊土社 | | |
| オフライン 連絡先 | 月、水、金 12:00~13:20 4号館 2階 西村研究室 nisimura@kdu.ac.jp ※不在時はメールでお願いします。 | | |